

# ここが聞きたい 一般質問

な<sup>2</sup>ツイッターや<sup>3</sup>フェイスブックの活用について伺います。

**\*2 ツイッター**…インターネットを使ったコミュニケーションの一つ。パソコンや携帯電話などからアクセスする。140字以内の短文のみに対応する。「いま、どうしてる?」という問いかけに対して、答える形で投稿を繰り返していく。即時性や日常性から人気を博しており、個人だけでなく、企業の商用利用も許可されていて広がりを見せている。

**\*3 フェイスブック**…インターネットを使ったコミュニケーションの一つ。パソコンや携帯電話からアクセスする。実名で登録し、新たな出会いを求めることもできるし、実生活で知り合った友達や同僚、同級生、仲間たちとの交流にも活用できる。趣味や地域でも検索できるなど、実社会のコミュニケーションの延長線上にある。

**市長** ホームページに音声読み上げや翻訳機能などを加え、利便性を向上させることを9月に予定しています。ツイッターは災害情報の発信に有効と評価しています。

**質問** 情報システムのダウン時の対策について、<sup>4</sup>業務継続計画（BCP）などを基に策定すべきと考えますが見解を伺います。

**市長** 災害情報の伝達については長時間の停電で、リアルタイムで

**\*4 業務継続計画（BCP）**…企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

の情報の受発信ができませんでした。紙での伝達や奥州FMの災害放送が有効でしたので、そのことについての周知もして参ります。



こ だ み っ 子  
千田美津子

○被災者の生活再建に向け市としても温かい支援を

**質問** 日本共産党奥州市委員会と市議団は、東日本大震災による市内の被災状況について、前沢地区650世帯、江刺の藤里地区300世帯、水沢の黒石地区50世帯の調査を実施し、小沢市長に対し、入浴サービスの実施、瓦礫・解体費用の対応、罹災証明の速やかな交付、農地被害への対応、内陸避難者への支援物資の供給など約50項目の申し入れを行ないました。

市長は、今後の被災者支援及び生活再建支援の課題についてどのような考えか伺います。

**市長** 被災者の実態にあった復旧が出来るような仕組みが必要だと思いますが、現状は、そのスピードが鈍く、ある程度、権限を基礎自治体に任せてもらい、より現場での対応がしつかりなされるような体制をとっていただくことが重要だと考えています。

**質問** 基礎支援金の増額が必要だと考えますが、市長の見解を伺います。

**市長** 増額の必要については、その通りだと思えます。今後、検討して参ります。

**質問** 建物の倒壊を最小限に食い止めるため、耐震診断と耐震補強を促進すべきと考えますし、また住宅リフォーム助成事業の活用を推進すべきと考えますが市長の見解を伺います。

**市長** 耐震については、さらに啓発活動を進め、個人の持ち出しが大きくなりないように支援を充実して参ります。住宅リフォームについては、今後もPRに努めながら周知を図って参ります。

○中学生的不登校について  
○原発事故による放射能への  
対応について



たかはし まさいち  
高橋 政一

**質問** 小学6年生から中学1年生になったときに、不登校が顕著にあらわれる中一ギャップと不登校の原因と学校・教育委員会の対応について伺います。また、震災のために編入学した生徒に対する接し方や心のケアについて伺います。

**教育委員長** 中学1年生で年間30日以上欠席した生徒は減少してき



専門業者に委託し市内19箇所の放射能を測定(胆沢第一小学校)